

長岡高専の学生が八十里越と大河津分水で現場見学

9月27日(水)、長岡工業高等専門学校環境都市工学科第3学年の生徒42名が八十里越(国道289号5号橋梁下部その2工事)と大河津分水(大河津資料館、第二床固)を見学しました。この見学会は、日頃の授業で学んだことが、社会で、どのように役立つのかを理解してもらうために実施しました。生徒は、完成すると日本でも有数の橋脚高となる5号橋梁の施工方法や、「大河津分水」の歴史と役割についての説明を、熱心に聞いていました。



大河津資料館で歴史と役割を学ぶ



3H工法を採用した5号橋梁の橋脚工事



足場最上段から施工状況を見学



鉄筋の結束方法を体験

『ちよ一こく通信』 第64号(平成29年9月号)より